

珈琲工房須田しんぶん

2018年2月号

25年目の気づき

10年くらい前でしょか？こんなことを感じたことがありません。――自家焙煎店の質も随分上がったなあ。

もちろん、自分の店も含めてそのように感じたのでした。

あの頃は、大手焙煎業者までもが、最終的には「ペパシヤリテイーヒル」と称して、高級品種、高地産「ヒー豆」に没頭し、自家焙煎店のお尻を押ししていたからです。それでこの10年間は、焙煎屋が上昇志向で、おろろを得なかつた10年間でした。猫も杓子もスペシヤリテイーヒルという言葉を使ひ、結局「定義がしかり確立される前にこの言葉の流行も終わろうとしている感じがします。「流行が終わる・・・つまり『当たり前の始まり・・・だ』」

ところが先日、東京から数店舗展開している「自家焙煎店の販売している豆を手取る機会がありました。それは、いわゆるツツのやうなんです。ブラジルだたら「ナンバード」、グアテマラだたら「SHB」、コロンビアだたら「スプレモ」・・・ツツのあらからぬ値付けには驚かされましたが、それはさておき、自分の店の品ぞろえも考える余地があると思つた次第です。次の5年はその点を思いめぐらしながらの時間になると思ひます。現状はいいあばかりが手元にあり、大変恵まれた状況です。しかし、噂では台湾、中国も「ヒー豆」の質や技術が向上しつつあることを聞いているからです。もしかしたら恐れていた消費量の増加が早めに来るかもしれません。

「当たり前」の終わり

一昨年の夏、台湾の阿里山アリヤンに住んでいる方が、日本の知人に連れられて、わが店に偶然ですが寄りまされた。その方は「ヒー豆」が大変興味があつて、その飲み方があつて、「ヒー豆」の飲み方だつたんです。あとで動画サイトで、台湾の茶館で「ヒー豆」茶を飲むしぐさを見て確認しました。

ご存知かとは思ひますが、アリヤンは最高級「ヒー豆」茶の一大拠点でもあり「ヒー豆」に関しても、同じ嗜好品飲み物として傾倒していてもおかしくはなかつた。

わたしの仕入れ先の社長が、昨年台北の「ヒー豆」アに行きました。「まだまだ」とは言ていましたが、文化として根付き始めているので、よね、フェアを大々的にやるわけですから。

一方で、中国本土はまだまだ「真似の域を出ませんが、都市部では「ヒー豆」を飲み始めています。上海に赴任している友人は、「中国人は真似始めたら5年で自分のものにするとつています。スペシヤリテイー豆あたり前の日本時代は意外と早く終わるかもしれない」と感じるわけです。

通信販売概要 コーヒー豆送料 (㊦がつから値上げ)

400gまで『ヤマト・メール便』 ¥200
600gまで『ゆうメール』 ¥200

『ヤマト宅急便』または『ゆうパック』

東北・関東 信越・北陸・東海 ¥640 近畿 ¥790
中国・四国 ¥840 北海道 ¥890 九州 ¥950
沖縄 ¥1150

★豆代金が¥6510を超える場合は送料無料★

通信販売のお知らせ 100g価格

↓下段3kg以上コーヒー豆お買い上げの割引値

ブラジル産

山本農園 W18 ¥450 ↓ ¥380
山本農園 ピーベリー ¥500 ↓ ¥420
N17 深煎り ¥380 ↓ ¥320

アフリカ産

イーペー (C) 農園 イエローブルボン ¥450 ↓ ¥410
イルマス・ペレイラ農園『シューベリーニョ』 ¥840
モカ・イリガチエフェ ¥580 ↓ ¥490
キリマン・カタル農園 ¥500 ↓ ¥420

その他中南米アジア

マンデリン・ローズファーム ¥550 ↓ ¥440
グアテマラ・インヘルト農園ブルボン種 ¥640 ↓ ¥590
グアテマラ・カスカハール農園 ¥490 ↓ ¥410
コロンビア・サンチュアリオ農園 ¥470 ↓ ¥400

サービブレンド

※スタブレは1kgまで

スタブレ 200g ¥400
スタブレ 500g ¥880
スタブレ 1kg ¥1540

アイスコーヒー・パックは

4月中旬の販売開始予定です。

